

要望事項 (優先順位 5)

三宅橋の無橋脚化について

要 旨

昭和10年頃に上高野の地区に大きな洪水がありました。大雨により、三宅橋に大量の流木が詰まり、ダム状態となりました。その時には、数名の死者が記録されています。近年、日本各地で、集中豪雨が観測されています。今後、再び、大洪水が生じる可能性もあります。

そこで、三宅橋を無橋脚化し、洪水災害の可能性を少しでも低くし、住民の安全を確保することを要望します。

回 答**(建設局)**

御要望いただいております三宅橋につきましては、昭和28年に架け替えており、その際には、河川の流下能力に対して余裕を持った高さとしております。

また、本市では、阪神・淡路大震災を踏まえ、平成7年度から緊急輸送道路上の15m以上の橋りょう及び跨線・跨道橋の耐震補強を進めてきており、三宅橋につきましては、平成20年度に耐震補強を実施いたしました。

これに加え、本市が管理する橋りょうにつきましては、5年に1回の頻度で全橋りょうを点検しており、平成26年度に実施した三宅橋の点検結果では、橋の機能に支障は生じておりません。

もとより、本橋は、河川の流下能力の確保等についても検証のうえ、河川法に基づく許可を受けて設置しているものであり、橋脚の存置が即、災害発生の原因となるものではございません。

今後とも引き続き、日常も含めたパトロールを実施するなど、安全確保に努めてまいりますので、御理解いただきますようお願いいたします。